

○ 経営健全化に向けた取り組み

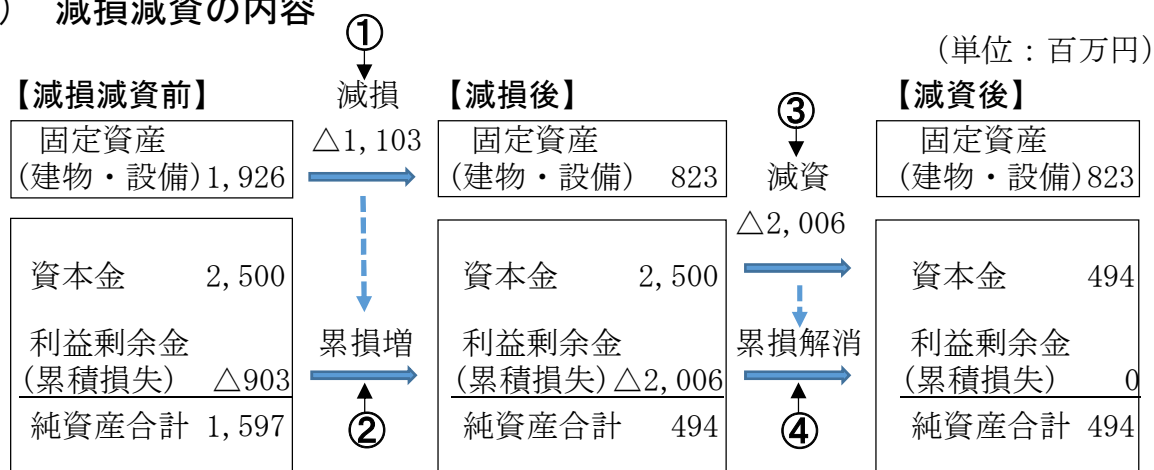
※ 平成30(2018)年6月作成

1 減損減資の実施

営業利益が3期連続で赤字となったことを受け、株式会社湘南国際村協会（以下「村協会」という。）では会計監査人から減損（固定資産の減額）の処理が必要であると判定された。

村協会では、減損を行うとともに、財務体質の改善（累積損失の解消及びコスト削減）を図るため、減資（資本金の減額）を行うこととしている（6月29日の株主総会で決議予定）。

(1) 減損減資の内容



※ 減損とは、固定資産の収益性が低下し、その投資額を回収する見込みがなくなったときに、帳簿価額を一定の条件の下で回収可能価額まで減額する会計処理で、実態に即した情報を開示しようとするもの。

(2) 減損減資の効果

- ・ 経営努力のみでは解消が困難な累積損失が整理され、対外的な財務信用力の向上が図られる。
- ・ 減価償却費や税負担などの減少により、毎年約5千万円の営業費用等が削減され、安定的に営業利益が黒字になると見込まれる。

2 今後の経営予測（今後5か年）

区 分	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
宿泊人数 [人]	33,000	33,000	32,500	33,000	33,000
売上高 [百万円]	594	598	624	632	632
営業利益 [百万円]	62	60	66	72	74